表 令和5年11月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第113～120号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、15日には非常に多い状態。 上空からの観測の状況。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな基線の伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第62～69号	3日、6日、10日 16時00分 13日 16時10分 17日、20日、24日、27日 16時00分	古岳及び新岳の噴煙の状況。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態。 古岳付近の浅いところで火山性地震が多い状態、振幅の大きい地震も時々発生。新岳付近の火山性地震は減少し少ない状態。GNSS連続観測では、6月下旬頃から古岳付近の膨張を示唆する変動。(10月)31～1日、14～16日の現地調査、24日の上空からの両火口の観測の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第79～86号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	火山性地震は、7月下旬以降、概ね少ない状態で経過。山体の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動が、一部観測点では9月頃から鈍化がみられ、11月に入り停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は3月下旬以降、以前より多い状態から、次第に減少。
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第27～30号	6日、13日、20日、27日 16時00分	GNSSの硫黄山近傍の基線で、5月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが継続。 硫黄山の南側の噴気地帯では活発な噴気活動が継続。西側500m付近では、弱い噴気を観測。 20～21日の現地調査の現地調査の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第45～48号	6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第75～78号	6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分	噴火活動が継続。大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山（新燃岳）	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第11～16号	1日～6日 16時00分	火口直下の浅いところで火山性地震が、10月下旬に増加し、火山活動がやや高まった状態で、10日間の回数は10/24～11/2(15h)で245回、11月に入り減少。11/1の現地調査で、新燃岳火口付近、新燃岳西側斜面割れ目付近の噴気の状況等に特段の変化はなし。他の観測データには特段の変化はなし。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島におい

令和5年11月 地震・火山月報（防災編）

では、噴火警報を公表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を公表している。